＜５５歳からの１００名山＞
笠ヶ岳２８９８ｍに登る

（報告）Fuka

◎ 山行期日：2018年　９月27日～29日

◎ メンバー：Ino　Fuka（Ｌ）

今回は100名山完登記念登山です。Inoさんから頂いた資料によると55歳で初めて100名山に登り始めたとのことです。65歳の今年。何とか完登したいとの思いが強く、この夏、利尻山・ポロシリ岳・トムラウシ岳・羅臼岳・斜里岳を登り、南アルプスの光岳・塩見岳を登りました。光岳・塩見岳は夏の大雨で道が崩落し二度も登りなおしたそうです。

ポロシリ岳はNakaさんとご一緒に登られたそうです。同行した方が徒渉中に足を骨折し、ポロシリ小屋からヘリで搬送されたそうです。この方はポロシリ岳が100名山の100番目だったそうです。やはり厳しい山を最後に残しておくのは考え物です。関西の方なので事後処理が大変だったろうとお察しします。

Inoさんとは昨年「100番目は笠ヶ岳にしよう」と決めていました。この山は展望が良く、槍ガ岳・穂高連峰・焼岳・三又蓮華などを眺めながら登ることのできる山です。100番目とするのにふさわしい山として選びました。

＜笠ヶ岳山頂からの槍穂高連邦＞

27日（木）雨。14時にニューホタカ山荘到着。ここの温泉は最高です。源泉かけ流し。露天風呂も自然林に囲まれたライティングが素晴らしい浴槽。宿泊客は私たち二人だけ。近くのレストランで飛騨牛を頂き、ゆっくりしました。

28日（金）。朝風呂に入り、珈琲を淹れてＢＦ。パッキングして部屋を片づけます。

6時55分。出発。ゲート近くの宿なので、笠ヶ岳に登るには有り難い。20人ほど先を歩いています。ブナと楢の原生林が濃い道です。

＜笠ヶ岳からの槍ヶ岳＞

７時40分。わさび平。ここから笠新道。1300ｍから2800ｍまで、1500ｍ。約６時間の急登が続きます。きつい登りです。日差しが強い。高度をどんどん上げます。穂高連峰の眺めが凄まじいです。北東に西鎌尾根・槍ヶ岳。その東側に中岳・南岳・大キレット・北穂高岳・涸沢岳・奥穂高岳・前穂高岳・西穂高岳・南端に焼岳の展望が続きます。豪華です。

12時30分。杓子平。樹林帯を抜け、ここから初めて笠ヶ岳が見え始めます。雲が笠ヶ岳を覆い始めます。なかなか良いカールです。

14時20分。笠新道の分岐着。ここは双六岳に繋がる縦走路です。ここから西の笠ヶ岳に向け縦走路を快適に歩きます。

15時40分。笠ヶ岳小屋着。小屋の方が「Inoさんですね」と声を掛けてくれます。100名山登頂のことを予約のとき話していたのです。有り難い。早速荷物を下ろし、山頂に向かいます。

＜笠ヶ岳山頂にて＞

16時10分。笠ヶ岳登頂。何とブロッケンが北東側の雲に浮かんでいる。こんなに濃いブロッケンは初めてです。興奮して写真を何枚も撮りました。Inoさんが持ってきた横断幕「祝！百名山完登！Ino！」を広げ写真を撮ってもらいます。山頂にいた皆さんに祝福してもらいます。西の空には虹がかかりました。信じられない。ホットウイスキーで祝杯をあげます。興奮を抱え、小屋で乾杯！そのときも宿泊客の方々に祝って頂きました。良い宴

でした。

　29日（土）。４時起床。外は激しい雨音。台風２４号の影響で雨足は強い。

５時30分。ＢＦ。味噌汁が旨し。生卵・焼き海苔・鮭など定番の朝食。６時。出発。雨は弱くなってきました。10人位の登山者が笠新道に向かっていく。途中で雨の中、雷鳥が三羽。７時。笠新道の分かれ。８時10分。杓子平。雨は相変わらずだが、ここからの笠ヶ岳の展望は素晴らしい。紅葉も濃くなっている。ひたすら雨の中を下る。こんなに岩が多い路だったのかと思う。靴の中までびっしょりと濡れます。

12時。ニューホタカ山荘到着。早速風呂。良い湯だ。身体が弛緩します。

13時。Inoさんの運転で松本に向かいます。15時。蕎麦屋「ものぐさ太郎」で豪華船盛蕎麦。「大雪渓」の冷酒が染みます。20時。高田馬場駅。帰宅。

今回の山行は大型台風24号が接近しているのでとても心配しました。27日（木）と29日（土）は雨の中でしたが笠ヶ岳を登る28日（金）だけは奇跡的に青天でした。山頂ではブロッケンと虹に迎えられ、祝っていただいたようで、嬉しい登山でした。

《コースタイム》

9月28日（金）

　6：55　ニューホタカ山荘　発　―7：40わさび平・笠新道　―12：30杓子平着

　―15：40笠ヶ岳小屋着　―１6：10笠ヶ岳山頂2898m

9月29日（土）

　6:00　笠ヶ岳小屋　発　―7:00笠新道の分かれ　―8:10杓子平着

　―12:00ニューホタカ山荘　着